

令和7年度 第2回学校運営協議会 議事録

1. 日時 令和7年10月22日（水）午後1時15分から4時15分まで
2. 場所 藤枝特別支援学校 多目的学習室（小学部棟3階）
3. 目的 今年度の学校経営計画にある「地域資源の活用」と「危機管理体制整備」に係る前期の取組等の報告について、御理解いただくとともに、御助言をいただくこと

4. 参加者（1）学校運営協議会委員

委員A、委員B、委員C【御欠席】、委員D【御欠席】、委員E、委員F、委員G

（2）本校職員

校長（鈴木ゆかり）、副校長（松本知栄子）、教頭（小林雅樹）、事務長（村松康代）、小学部主事（采女靖彦）、中学部主事（黒岩章子）、高等部主事（田中宏和）、肢体統括主任（二俣康明）、訪問主任（若松希美乃）、教務主任（鈴木裕）、地域連携課長（松崎克矢）、危機管理課長（堀田綾子）、医療的ケア主任（三輪眞稔）

5. 内容

I. 開会（13:15）

副校長（松本）：本日はお忙しい中、委員の皆様にお集まりいただき、ありがとうございます。資料は事前に郵送させていただいたものがお手元にございますでしょうか。本日の次第は資料の1ページに記載のとおりです。本日は、前回御欠席されていましたが委員B、委員Gに御出席いただいております。なお、委員C、委員Dは御欠席と御連絡いただいております。

それでは、本校校長より御挨拶申し上げます。

校長（鈴木）：本日は大変お忙しい中、またお足元の悪い中お集まりいただきありがとうございます。2学期がスタートして約2か月経ちますが、最初の始業式の日には台風15号が来てしまい、初日から大変でした。大きな被害はなかったものの、中庭に水が溜まって小学部校舎に20cmほど浸水したり、栃山川が警戒レベル5まで上がったりと、今後は特に気をつけていかなければならない事態がありました。修学旅行や11月29日（土）のふじとく祭り、高等部の現場実習など、学校の活動が本格的に始まっています。今日は、前期の取

り組み報告として、主に「安全・安心」と「連携」の2点について御意見をいただきたいと思っています。特に連携については、本校のことをもっと地域の方に知っていただくことが、児童生徒の豊かな生活につながると考えていますので、地域の方と一緒に活動や、地域に出る活動、地域の方に来ていただく活動を増やしていけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

委員 A: 早いもので令和7年度も半分過ぎました。我々が連携と安心安全に特に着目し、今日は前期の報告をいただくわけですが、特に防災は毎年課題があり、やればやるほど難しくなっています。今日御出席の専門の委員の方々からも、気づいた点について御意見や御助言をいただければありがたいです。

副校長（松本）: 本日の目的は、今年度の学校経営計画にある「地域資源の活用」と「危機管理体制の整備」に係る前期の取り組みを御報告し、委員の皆様にご助言をいただくことです。

II. 前期の取組報告①（連携）

委員 A: それでは、連携に関する報告です。地域連携課長の松崎先生から全体報告をお願いします。その後、各学部等から報告をいただきます。

前期の取組報告①（学校経営計画 ウ 連携）

	報告内容の要点
地域連携課	<ol style="list-style-type: none">学校間交流: 小学部知的学級は高洲南小学校、肢体不自由学級は大洲小学校と交流。中学部は大洲中学校と交流。課題として、事前に交流校に活動の内容や児童生徒との関わり方を考えるヒントを提供しておく必要性を感じた。交流籍: 小学部 75% (106 人)、中学部 63% (48 人) が実施予定。交流校の理解が深まっている。HP/Instagram: 昨年度の意見を受け、今年度から Instagram の投稿を開始。タイムリーな情報発信が可能となった。課題として、肖像権保護の注意と、アカウントの周知が必要。作品展示: 藤枝順心高校、大洲地区交流センター、しずてつストア、スターバックスコーヒー（藤枝・島田の3店舗）等に展示。地域の方に特別支援学校の様子を知ってもらう機会となり、企業との関係も深まり、授業の講師招聘につながった。ボランティア: 「ふじとくまつり」に向け高校生ボランティア（現在 15 人ほど）を募集。大洲地区自治会からのミシン指導や園芸作業補助のボランティア活用を予定している。

小学部	<p>1. 地域の施設利用：高岡公園、前島上東公園、忠兵衛ふれあい広場など近隣施設を利用し、マナーや約束を学ぶ機会となっている。4年生は藤枝駅から電車を利用し、島田市の施設へ校外学習を実施。</p> <p>2. 体験的学習：志太消防本部による煙体験や、中部危機管理局による起震車体験を実施。今年度は肢体学級も参加した。</p> <p>3. 作品展示：「焼津かつお SHOW てん」に出品。</p> <p>4. 課題：地域に触れる機会や施設を活用する機会を増やし、学んだことを応用する経験を重ねたい。</p>
中学部	<p>1. 地域とつながる授業：総合的な学習の時間で、藤枝、島田、焼津、静岡市について調べ学習や体験学習を実施（茶摘み体験、東海道、水産加工など）。</p> <p>2. 作業学習：縫製班では、地域飲食店からコーヒー殻を染料として、リネン会社からシーツを試作品材料として提供を受けている。ミシンボランティア（地域コーディネーター紹介）の指導補助も活用。</p> <p>3. 成果：生徒が直接依頼・受け取りをすることで、物だけでなく人を介するコミュニケーションが生まれた。</p> <p>4. 課題：今後、作業学習の縫製班やガーデニング委員会等、今よりも多くの授業で地域人材を活用し、直接交流できる機会を増やしたい。</p>
高等部	<p>1. 地域資源活用：交通安全教室、携帯マナー講座、静鉄 SDGs 講話、職場実習、薬学講座、美容講座、模擬投票出前講座などを実施。</p> <p>2. 作業製品販売：ふじとくプロダクト（静鉄ストア藤枝駅前店）での販売会は好評。陶芸班やリサイクル班、サービス班も地域企業や施設と連携。</p> <p>3. 成果：外部講師やフィールドワークにより、生徒・教員双方が新鮮さを持って「本物を見る／知る、気づく／学ぶ」機会となった。</p> <p>4. 課題：同年代との直接的・間接的な交流が停滞している。公立高校2校との部活動を窓口とした交流を模索中。</p>
肢体不自由学級	<p>1. 施設利用：高等部1年が事業所（ビーンズカフェ）を見学し、卒業後の進路理解を深めた。中学部1・2年が藤和乾物株式会社を見学し、五感を通じた体験を行った。</p> <p>2. その他：ふじとくプロダクト（選抜メンバーが直接販売）や模擬選挙に参加。</p> <p>3. 課題：車椅子で利用可能かつおむつ交換用ベッドのある施設の情報が必要。また、非常時の電源が確保できる施設の情報があると、近隣施設への外出が増える。高等部は同年代との交流機会が必要。</p>

訪問教育	<p>1. 連携方法：所属学部や学年とつながりを持ち、オンライン授業やスクーリング、動画のやり取りなどを行う。</p> <p>2. 学校外活動：訪問教育として初めて学校外施設（アピタ島田店）で集合学習を実施。店側の丁寧な対応により安全安心に活動できた。生徒は「家族でも外出したい」という自信につながった。</p> <p>3. その他：高等部「ふじとくプロダクト」の作業学習に部分参加、静岡県武道館にて美術作品を展示。</p> <p>4. 課題：家庭や学校以外で安全安心に活動できる場所を開拓したい。</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

III. 委員からの意見、感想等①（連携）

委員 A：報告ありがとうございました。委員の皆様、何か御意見はございますか。

委員 G：大変な御苦勞をされながら、本当に非常に多くのことを取り組まれていると改めて感じました。Instagramについて、給食の投稿が多い印象で、誰に何を伝えたいかという**コンセプトが不明確**に感じます。授業の内容など、保護者や外部が興味を持つ内容を発信された方が良いのではないのでしょうか。また、HPは公式なイベント単位、Instagramはタイムリーな日常の風景といった**使い分けを整理された方が効果的**かと思います。ボランティアについては、企業側は何ができるか分からないことが多いので、学校側から「こういうことがやりたい」と案内をいただければ、協力の可否や代案を提案できます。また、小学部では全国児童画コンクールに参加することも可能かと思います。

休憩

V. 前期の取組報告②（安全・安心）

委員 A：それでは、安全・安心に関する報告です。危機管理課長から学校全体に関する報告をお願いします。

前期の取組報告②（学校経営計画 ア 安全・安心）

	報告内容の要点
危機管理課	<p>1. 危機管理体制の整備：危機管理マニュアルを実用できるものにするため、具体的な課題分析に取り組んでいる。</p> <p>2. マニュアル改訂：ライフラインや備蓄品の不足数（電力、簡易トイレ凝固剤など）を計算し明確化。風水害や警報への対応の見直し（警報</p>

	<p>基準だけでなく状況判断の柔軟化、南海トラフ臨時情報「調査中」を休校対象に追加) を実施。</p> <p>3. 訓練の実施：夏季防災研修にて、3次避難以降の児童生徒留め置き時の業務分担を全職員で共有し、簡易トイレやパーテーションの組み立て訓練を実施した。引渡し訓練では、車両誘導に多くの人員が必要なため、体制の見直しが必要という課題が判明。後期は災害伝言ダイヤル訓練（保護者合同も予定）や、様々な想定訓練を計画。</p>
医療的ケア	<p>1. 体制整備：医療的ケア児・肢体学級生徒の「一日の生活」の様子（夜間含む）を保護者と共有。</p> <p>2. 災害時想定：医療的ケア用の蓄電池により、吸引器は6日間、人工呼吸器は2日間程度電力を維持できることを確認。看護師体制はシフトを組んで交代でケア対応する方針を確認。</p> <p>3. 緊急時対応：最寄りの主要救護所が Bivi 藤枝 (1.6km) であることを確認した。4. 課題：災害時の具体的なケア内容について保護者とすり合わせが必要。絶対的な看護師不足が最大の課題であり、地域の方や病院との関係性構築が必要。Bivi 藤枝までの搬送方法を検討する必要がある。</p>
教頭	<p>1. 福祉避難所：藤枝特別支援学校は、藤枝市の知的障害者とそのご家族が対象の福祉避難所として指定されていることを確認。</p> <p>2. 市との連携：「福祉避難所運営に関する連絡会議」(8月)を開催。連絡手段(電話、LINE ワークス)や物資(市が用意、学校備蓄使用時は市に請求)について協議。</p> <p>3. 課題：停電時の福祉避難所運営は現時点では困難。体育館の収容人数の具体的な数値化や、プレイグラウンドの利用方法、次年度以降の地域自治会や近隣学校との連携が必要。</p>

VI. 委員からの意見、感想等② (安全・安心)

委員 A：防災倉庫の見学は、残念ながらこの雨なので中止とさせていただきます。それでは、意見交換をお願いします。

委員 F：Instagramでの発信など、新しい取り組みは非常に大切だと思います。外に出向く活動や経験は、卒業後の地域や社会に出た時に生徒さんの力になります。藤枝市としても、出前講座などを活用して支援できますので、ぜひ御活用ください。11月15日に共生社会実現に向けた「ともフェス」を開催します。

委員 E: 地域連携の取り組みで、外部講師を招いて様々な指導をしていただくのは本当にありがたいことです。講師の方々が子供たちの多様性を知る良い機会になり、共生社会の実現につながると思います。防災について、保護者としては学校に子供が「留め置き」になることが気になりますが、その検討を進めてくださっているということで、すごく安心しました。医療的ケアの件で、Bivi 藤枝まで 1.6km の搬送が必要という話がありましたが、災害時には児の症状と搬送による児への負担を天秤にかけて、搬送するべきか、そこで様子を見るべきか判断することが大切だと思います。

委員 B: 地域連携について、自治会との協力を感謝します。ミシン補助は人が集まりづらかったのですが、園芸部門は 11 月以降に協力者を探したいです。来年度からは大洲の防災会に支援学校の方にも参加してもらい、連携を深めたいです。あと、大洲地区に増えている放置農地を学校で利用して、子供たちに収穫の喜びを体験させてあげたいと思っています。

委員 A: 発信については、個人情報保護の難しさがあるのはわかります。しかし、世間に知ってもらえる機会を増やさないと、いつまでも理解は進みません。作品展示など、外部の目に触れる機会は、子供たちにとっての大きな刺激になります。防災については、生徒や先生方、すごい人数（300 人以上）ですから、水（1 日 3L）の確保は大変です。井戸を掘るか、発電機を準備するなど、具体的な準備が大切です。また、実践的な訓練を通じて、子供たちが電気がない状態でどれくらい我慢できるかなどをチェックすることも重要です。

委員 G: 福祉避難所について、進展がありありがとうございます。ご家庭が停電した際の蓄電池対応も心配ですので、安価な家庭用蓄電池の情報提供もできると良いかもしれません。訓練について、弊社では毎月 1 回の避難確認訓練や、夜間訓練、停電時の現金販売訓練など、より実態に即した訓練を行っています。

委員 A: 当法人（すみれ会）でも、停電を再現し発電機を使って電気が回復する状態を確認する訓練を共同でやっています。また、ドローンを使った防災の実践は、生徒が一番喜ぶと思います。

高等部主事（田中）: 委員 F に御紹介いただいた「ともフェス」でのステージ発表について、現在、本校生徒と島田商業高校放送部との合同で司会進行を進める計画を立てています。

教頭（小林）: 委員 A 様、委員 G 様、実態に即した訓練について具体的に教えていただき、ありがとうございました。

VII. 連絡等・閉会

副校長（松本）：たくさんの御意見、ありがとうございました。連絡事項を3点お伝えします。

1. 議事録について：本日の議事録は、委員の皆様にご確認いただいた後、ホームページに掲載いたします。
2. 次回協議会について：次回は、令和8年2月17日（火）の午後1時15分から午後3時45分を予定しています。今年度の学校経営計画の自己評価と成果、課題を御報告する予定です。
3. 「ふじとくまつり」について：11月29日（土）に実施予定の「ふじとくまつり」への御案内を封筒に入れさせていただきました。子供たちの元気な姿を御覧いただければ幸いです。

校長（鈴木）：本日は本当にたくさんの御意見をいただき、ありがとうございました。連携について、Instagramはコンセプトをしっかりと整え、地域資源を活用した事業をどんどん取り入れていきたいと思えます。防災については、終わりはありませんが、少しずつ前進しています。今いただいた御意見も踏まえ、今後は保護者も巻き込んで家庭の状況も確認しながら、一緒に改善していきたいと思えます。本校のソーラーパネルは壊れていて蓄電池が使えない状況なので、ポータブル電源などで工夫しながら対応していきたいです。

副校長（松本）：以上をもちまして、第2回学校運営協議会を閉じさせていただきます。長時間にわたりありがとうございました。

